

# (株)林藤ハウジング

前橋市敷島町248-9 TEL.027-234-4060 FAX.027-233-3696  
URL▶http://www.rindou.com/ E-mail▶eco-home@rindou.com  
建設業許可群馬県知事(般-29)第11178号



## 得意分野

- 高断熱高気密
- 職人技
- パッシブデザイン
- 日本民家
- 自然素材
- リノベーション

## 人にも環境にもやさしい、自然素材を用いたデザイン住宅



代表取締役 一級建築士  
古民家鑑定士  
林 慧次郎

林藤ハウジングは設計と施工両面で高いクオリティを発揮するアーキテクトビルダーである。無垢材をはじめとする自然素材と高断熱高気密、伝統工法の継承、垢抜けたデザインを高いレベルで融合させた家づくりを行う。その背景には、人にも環境にも優しい家づくりを行いたいという志がある。

同社が自然素材の家づくりを始めたのは、まだシックハウス症候群という言葉が普及していない時代。「新築の家にいるとアレルギーを起こす」という施主の相談に対応したのがきっかけだった。以来、林慧次郎社長は構造や床、内装に良質な国産材を使用。塗り壁には手づくりの漆喰や珪藻土を用い、人の健康だけではなく

地球環境にも配慮した住まいづくりを追求している。「住む人の健康、そしてウッドマイレージという視点からも県産の無垢材をメインに使っています」と林社長。

木造軸組工法をベースに、金物は可能な限り使用しない。墨付けや継手、仕口など古くから伝わる伝承技術を駆使する。

自然素材とデザイン性の融合が大きな特長であり、現代人のセンスやライフスタイルに合う高感度なナチュラルモダンを追求し、幅広い層に支持されている。

二十数年前にいち早く高断熱・高気密住宅の探求を始め、すでに多くのノウハウを蓄えている。国の省エネ基準を大きく上回るHEAT20のグレード2をクリアし

ている。太陽光など自然エネルギーを利用したゼロエネ住宅の普及にも力を入れる。室内の快適な温熱や空気環境を維持するとともに、耐震等級3を標準とする。

新築に加え、リフォーム、とりわけ古民家再構築の実績を数多く重ねてきた。一級建築士・古民家鑑定士の林社長は、依頼があれば、古い養蚕農家などを調査し、耐震・断熱補強を含めた改修、間取りの改良などを行い、現代の暮らしに合う快適空間へと生まれ変わらせる。

デザイン性や心地良さは、モデルルーム兼本社社屋で随時体感できる。



■ 県産の無垢材を多用し土間を配したLDK



■ 性能+薪ストーブで冬も家中、心地良い暖かさ



■ 古民家の2階を居住スペースにリノベーション



■ 耐久性と居心地に配慮し適材適所に使い分けた床材



スタイリッシュなフォルムの外観が特長だ。室内は無垢材と漆喰の塗り壁をミックスさせたナチュラルな空間づくり。吹き抜けを取り入れることで採光や風通しを良くして、四季を通して快適な住まいとする。家具なども手づくり。